



e-PAP財務会計システム

インボイス制度改正対応版 説明会資料



2023/11/6 動画マニュアル視聴用

もくじ

第2章	顧問先情報 7
第3章	事前登録処理 9
第4章	仕訳入力・インボイス制度開始以降の確認事項	25
第5章	仕訳入力・月次処理 31



※本書の画面で使用されているデータは架空のデータです。
※本書は、ヘルプ「税制改正・機能強化内容」より抜粋して作成しています。

2-1 適格請求書発行事業者登録番号の入力・確認

①適格請求書発行事業者登録番号

インボイス制度の開始に伴い、適格請求書発行事業者の登録申請をおこない、適格請求書発行事業者として登録された際に発行された登録番号を入力してください。

登録番号は、『適格請求書発行事業者の登録通知書』で確認できます。

通知書は、【電子申告システムメニュー】の画面右下の「受付システム（e-Taxホームページ）通知書等一覧へ」をクリックし、顧問先の利用者識別番号でログインすると確認できます。

トップメニュー内『12. 顧問先情報』⇒『01. 顧問先基本情報』

【顧問先・代表者】【顧問先・納税者】

・顧問先が“法人”の場合

法人番号を入力している場合、適格請求書発行事業者登録番号は法人番号の先頭に“T”がついた番号のため、[引用≫]を選択すると、番号が表示されます。

法人番号を入力していない場合は、「適格請求書発行事業者登録番号」が入力項目（入力欄が白色）になります。法人番号を入力または、通知書の登録番号を入力してください。

【顧問先・代表者】

・顧問先が“個人”の場合

通知書に記載されている登録番号を入力してください。

【顧問先・納税者】

②消費税の設定

【消費税】に『適格請求書発行事業者情報』欄を追加しました。

【顧問先・代表者】で入力した「適格請求書発行事業者登録番号」が表示されます。

- ・【Ver. R05.1】セットアップ前に「適格請求書発行事業者登録番号」を入力した場合は、「開始年月日」に令和5年10月1日が入力されます。
- ・【Ver. R05.1】セットアップ後に「適格請求書発行事業者登録番号」を入力した場合は、「開始年月日」を入力してください。

事業年度に適格請求書発行事業者の登録開始年月日（『適格請求書発行事業者情報』欄の「開始年月日」）が含まれる場合は、【適格請求書発行事業者前】【適格請求書発行事業者後】が設定できます。それぞれで設定してください。

例) 事業年度：令和5年4月1日～令和6年3月31日

令和5年9月30日までは免税事業者、10月1日から課税業者(本則課税)に変更になった場合

『e-PAP 財務会計』【01.事前登録処理】→[消費税処理設定]と相互連動しています。

『e-PAP 財務会計』のみで設定する項目もあります。

【適格請求書発行事業者前】

事業年度の途中で変更できない項目は、設定を変更できません。

事前登録処理

事業年度に適格請求書発行事業者の登録開始年月日（『顧問先基本情報』【消費税】の『適格請求書発行事業者情報』欄の「開始年月日」）が含まれる場合は、【システムメニュー】から [01. 財務会計] を選択すると、最初の1回のみ、メッセージが表示されます。

顧問先情報

00002 株式会社 サンプル 法人 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

入力項目選択

基本情報

消費税

適格請求書発行事業者情報

適格請求書発行事業者登録番号 : T 9999999999999999 開始年月日 : 令和 5 10 1

[OK] を選択すると、【財務会計システムメニュー】が表示されます。

グループメニュー内『01. 事前登録処理』⇒『31. 基本情報登録・訂正』の設定をおこなってください。(次ページ参照)

法人申告メニュー

00002 株式会社 サンプル 法人 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

Webメニュー 項目ヘルプ FAQ

法人申告システム

01 財務会計

11 法人税・地方税申告

21 一括印刷 (法人税・消費税 提出資料)

02 減価償却

12 消費税申告

22 電子申告

03

04

05

31

税務代理権限証書

税理士法第33条の2 添付書面

顧問先ライブラリ

特別処理

顧問先別マイナンバー管理

インフォメーション

適格請求書等発行事業者の開始年度です。
『31 基本情報登録・訂正』の「消費税処理設定」
の内容を確認してください。

OK

システムの紹介 操作画面の構成 処理の流れ Q & A

処理選択

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 終了

財務会計システム

事前登録処理

事前登録情報

00 ユーザ設定メニュー

01 事前登録処理

02 仕訳入力・月次処理

03 消費税管理処理

04 補助管理処理

31 基本情報登録・訂正

32 勘定科目情報登録・訂正

51 印刷

3-1 『31. 基本情報登録・訂正』

事業年度に『顧問先基本情報』【消費税】の『適格請求書発行事業者情報』欄の「開始年月日」が含まれる場合は、グループメニュー内『01. 事前登録処理』⇒『31. 基本情報登録・訂正』で、【適格請求書発行事業者前】【適格請求書発行事業者後】の設定がおこなえます。

本則課税の場合

【適格請求書発行事業者前】…事業年度の途中で変更できない項目は、設定を変更できません。

インボイス
期中：免税→課税

期中から適格請求書発行事業者になる場合は、期末の帳表出力や消費税申告書の作成時に、免税事業者の消費税計算処理を「しない」に設定してください。

① 年一括計算方法 <追加項目>

自動振替
 振替しない 個別振替 年一括振替

年一括振替計算方法
 計 算 方 法: 割戻計算 積上計算
 計 算 時 間: 手 動 自 動



Point

自動振替と年一括振替の場合の計算方法は元帳、試算表、決算書出力に関係する設定です。

「計算方法」を追加しました。税込の仕訳伝票の消費税額の計算方法を選択します。

「②消費税の算出方法」で“積上計算方式”または“売上：割戻計算方式、仕入：積上計算方式”を選択する場合は、“積上計算”を選択してください。

※【Ver. R05.1】より前のバージョンでは、“割戻計算”の対応でした。

割戻計算・・・税込仕訳の税込金額を合計して計算

積上計算・・・税込仕訳の消費税額を合計して計算

②消費税の算出方法

消費税の算出方法
 積上計算方式 割戻計算方式
 売上：割戻計算方式
 仕入：積上計算方式



Point

03. 消費税管理処理メニューに関する設定です。

インボイス制度における仕入税額の計算方法に従って、選択項目を見直しました。

【適格請求書発行事業者後】は、「消費税の算出方法」で「売上：積上計算方式、仕入：割戻方式」を選択できないため、選択項目に表示されません。

※【適格請求書発行事業者前】で「売上：積上計算方式、仕入：割戻計算方式」を選択していた場合は、“積上計算方式”が選択されます。必要に応じて、設定を変更してください。

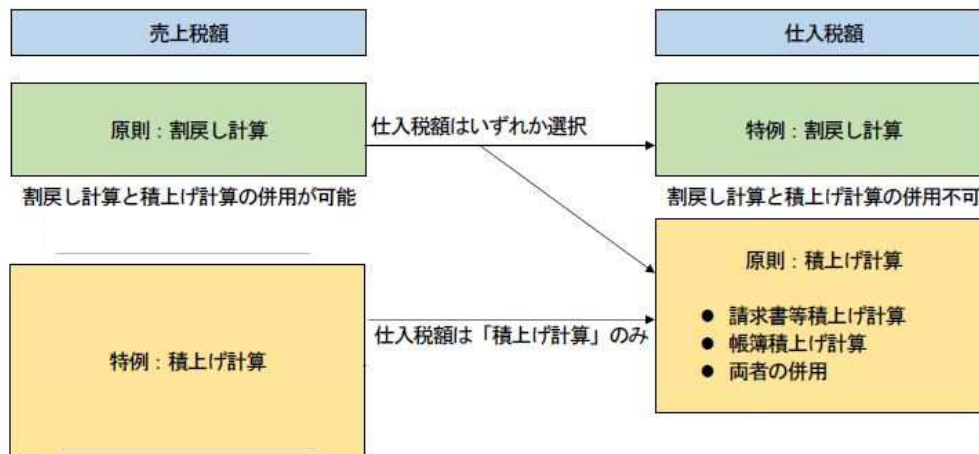
消費税の算出方法
 積上計算方式

令和5年10月1日より「売上:積上計算、仕入:割戻計算」は使用できない為、「積上計算」に変更しました。設定内容を見直してください。

～参考～

3 計算方法の組み合わせ

円未満の端数処理が有利となる組合せ（売上税額：積上げ計算 = 仕入税額：割戻し計算）は、認められません。



③適格請求書等保存方式－仕入税額控除の経過措置の設定 <追加項目>

適格請求書等保存方式－仕入税額控除の経過措置の設定

- 経過措置の終了後も値引・返品等で使用する
- 経過措置の税額を期末振替する請求区分を使用する

・「経過措置の終了後も値引・返品等で使用する」

経過措置80%期間の課税仕入を50%期間に返品等をおこなう場合や、50%期間の課税仕入を経過措置期限後に返品等をおこなう場合など、期間外の経過措置の請求区分を使用する場合に選択します。

・「経過措置の税額を期末振替する請求区分を使用する」

仕訳起票時に経過措置80%または50%の税額とせず、100%の税額で起票し、期末に20%または50%分を損失計上等の仕訳で調整する方法をおこなう場合に選択します。

選択すると、『仕訳伝票入力』時に“80控除対象(期末)”の入力がおこなえます。

(p. 29 参照)

④税抜仕訳の入力方法 <追加項目>

税抜仕訳の入力方法

- 税額を別仕訳で入力
- 税額仕訳入力を省略

税抜の仕訳伝票を入力する際、税抜の仕訳伝票と別に消費税額の仕訳伝票を入力するか、税抜の仕訳伝票で消費税額を計算するかを選択してください。

※【Ver. R05.1】より前のバージョンでは、“税額を別仕訳で入力”の対応でした。

【Ver. R05.1】で、“税額仕訳入力を省略”の機能が追加されました。

・「税額を別仕訳で入力」

消費税の仕訳伝票を別仕訳で入力します。

1	4	1	7021	商品仕入高		1111	現金				10,000	A商店					
		<input type="checkbox"/>		税抜10%	40	あり				外	1,000						

削	No.	月	日	借方					貸方					金額	摘要			
決		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク	
	2	4	1	1761	仮払消費税等			1111	現金				1,000		A商店			
		<input type="checkbox"/>		税外	10%	40	あり	税外	0%	0	以外							

※免税業者からの課税仕入に係る経過措置に対応する仕訳については「入力区分」が“税込み”“税抜き”どちらの場合も消費税仕訳伝票の入力は不要です。(p. 28 参照)

・「税額仕訳入力を省略」

消費税額が自動計算されますが訂正できます。（入力欄は、入力項目（白色）になります。）
適格請求書等に記載された消費税額と異なる場合など、必要に応じて、訂正してください。

削 決	No.	月 日		借 方				貸 方				金 額	摘 要				
		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区		請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋
	1	4	1	7021	商品仕入高			1111	現 金			10,000		A商店			
					税抜	10%	40	あり	税外	0%	0	以外	外	1,000			

『31. 仕訳伝票入力・訂正』では、仮払消費税等の仕訳伝票は入力していませんが、『仕訳日記帳』等を出力すると確認できます。

仕 訳 日 記 帳

00002 株式会社 サンプル

伝票 No.	月日	借 方 科 目	消費 税 区 分 等	貸 方 科 目	消費 税 区 分 等	金 額	摘 要
1	4.1	7021 商品仕入高	抜* 10%	1111 現 金		10,000	A商店
1	#	1761 仮払消費税等	外* 10%	1111 現 金		1,000	A商店
		令和 5年 4月合計		伝票枚数		2	(借方補)

伝票枚数は、“2枚”と出力されます。

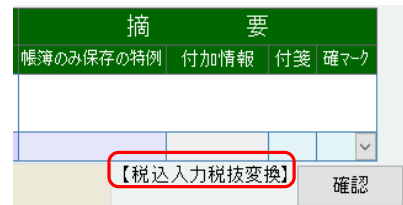
● “税額仕訳入力を省略” の場合は、『仕訳伝票入力』時に「入力区分」を
“税込” から “税抜” に変換できます。[SF10：税込入力税抜変換] ●

[SF10：税込入力税抜変換] を選択すると、画面右下に【税込入力税抜変換】と表示され、仕訳伝票入力後、【確認】を選択すると、“税込” で入力した仕訳伝票を、“税抜” の仕訳伝票に変換できます。

詳しくは、ヘルプをご覧ください。

※この機能は、新規伝票の入力時のみ使用できます。

※グループメニュー内『01. 事前登録処理』⇒『31. 基本情報登録・訂正』【消費税処理設定】の「入力方式」で“税込み方式”を選択している場合は使用できません。



～こんな時にはこんな処理～

Q. 「適格請求書発行事業者前」の設定を変更したいのですが？

A. 顧問先基本情報で登録した適格請求書発行事業者登録番号を一旦削除してから消費税の設定を訂正してください。訂正後再度削除した適格請求書発行事業者登録番号を入力してください。

※個人の場合は、番号が不明にならないよう一旦メモを取ってから実施ください。

顧問先: 代表者

※ 顧問先No.: 00011 法人番号: 1 0100 0101 2182 引当

※ 顧問先名: 株式会社 サンプル

適格請求書発行事業者登録番号: T 1010001012182 変更履歴登録

※クリア: [Delete]/[BackSpace]

Delete 又は BackSpace 引当 適格請求書発行事業者登録番号: T

参考：消費税管理処理メニュー

～メニュー表記&入力選択ツリーの違い～

財務 Ver.R05.2 (2次版) 対応予定内容です。

免税事業者の場合



免税で消費税計算をおこなわない場合はグループメニュー『03. 消費税管理処理』が選択できません。
『01. 事前登録処理』より『71. 消費税検討情報入力』がおこなえます。

インボイス 期中：免税→課税

適格請求書発行事業者の場合は、『03 消費税管理処理』の選択が可能です。

本則課税の場合



- 付表2-3
- 付表1-3
- 消費税申告書(一般用)
- 課税標準額等の内訳書
- 消費税の還付申告に関する明細書
 - 表面
 - 裏面

インボイス 期中：免税→課税

「2割特例を選択する場合」
消費税申告書(一般用)第1表・第2表、付表6
消費税申告書(簡易課税)第1表・第2表、付表6

簡易課税の場合



- 付表5-3
- 付表4-3
- 消費税申告書(簡易課税)
- 課税標準額等の内訳書

3-2 請求書等有無区分の管理例

仕訳伝票入力において「適格請求書発行事業者からの課税仕入れ」「適格請求書発行事業者以外からの課税仕入れ」を区分できるように、令和5年10月以降の仕訳入力をおこなう場合の「請求書等有無区分」を変更し、「請求書等有無区分」に従って仕入税額控除の計算をおこないます。

勘定科目、補助科目、摘要に「請求書等有無区分」を登録していただくと、仕訳に自動入力されます。毎回「請求書等有無区分」を変更する必要がなくなり、便利です。

3-2-1 勘定科目を使用して区分する場合 『32. 勘定科目情報登録・訂正』

※※勘定科目を使用して区分する場合の運用※※

- ・総勘定元帳、試算表、決算書などの財務諸表では科目ごとに分かれて出力されます。決算書では1つの仕入科目として出力したい場合は、別途設定が必要となります。(財務会計システムメニューの『13 特別処理』→「61 詳細出力設定登録・訂正」にて設定します。)
- ・消費税計算内訳表は科目ごとに集計されます。

科目コード:

使用しない科目: 表示しない 表示する

カーソル移動設定: 横移動 縦移動

使用	科目コード	勘定科目名称	課税区分	標準税率	税率変更	入力区分	請求区分	帳簿のみ保存の特例	科目ガイド
<input checked="" type="checkbox"/>	712	仕入高(補助)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり		
<input checked="" type="checkbox"/>	713	仕入高(適格)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり		
<input checked="" type="checkbox"/>	714	仕入高(不明)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	9:不明		
<input checked="" type="checkbox"/>	7141	仕入高(免税)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	4:控除		
<input checked="" type="checkbox"/>	7142	仕入高(特例)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	3:特例	6:古物商特例	
<input checked="" type="checkbox"/>	7143	仕入高(摘要)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり		
<input checked="" type="checkbox"/>	7144	仕入高6	40	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり		
<input checked="" type="checkbox"/>	715	仕入値引戻し高	41	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり		

請求区分 (変更前)

請求区分

0:なし

1:あり

2:以外

3:特例

4:控除

9:不明

① 標準税率

“自動設定”を選択すると、『仕訳伝票入力・訂正』で入力した「月日」を基に、税率を自動判断して仕訳伝票を入力できます。

勘定科目の税率情報を設定しておくで、取引ごとに税率が設定されます。

インボイス

② 請求区分 (請求書等有無区分)

「適格請求書発行事業者からの課税仕入」の場合は“1:あり”を選択します。(初期値)

「適格請求書発行事業者以外からの課税仕入」の場合は“4:控除”を選択します。

“3:特例”を選択すると、「帳簿のみ保存の特例」が選択できます。(3-2-2参照)

使用	科目コード	勘定科目名称	課税区分	標準税率	税率変更	入力区分	請求区分	帳簿のみ保存の特例
<input checked="" type="checkbox"/>	7142	仕入高(特例)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	3:特例	6:古物商特例
<input checked="" type="checkbox"/>	7143	仕入高(摘要)	40	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり	
<input checked="" type="checkbox"/>	7144	仕入高6	40	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり	

③ 課税区分

その勘定科目が消費税において、どのような取引に使用されるかを選択できます。

※811:商品売上→課税売上 813:売上→非課税売上

補助科目に課税区分を設定する場合は課税区分を「99」に設定します。

3-2-2 補助科目を使用して区分する場合 『33. 補助科目情報登録・訂正』

本則課税の場合

※※補助科目を使用して区分する場合の運用※※



- ・仕訳伝票入力時に必ず補助コード欄にカーソルが止まります。補助コードを入力することで「請求書等有無区分」の入力漏れが防げます。また、補助集計表や補助元帳を出力することにより、補助科目ごとの金額を集計することができます。
- ・仕訳伝票入力時に必ず補助コードを入力することになりますので、今まで仕入科目に補助科目を使用していなかった場合は、入力する項目が1つ増えることになります。
- ・顧問先経理とデータのやり取り（出力・取込）をおこなっている場合は、顧問先経理側でも同じように補助科目を登録する必要があります。会計事務所側で補助科目を登録した場合は、マスタを送信して顧問先経理側で取込することで、顧問先経理にも補助科目が登録された状態になります。
- ・マスタには補助科目以外にも勘定科目、摘要などの情報も含まれますので、顧問先経理側で取込しても問題ないか事前に確認してください。

科目コード: 712 仕入高(補助) 課税区分: 40 税率区分: 自動設定 入力区分: 税込み 請求区分: あり

補助関連設定

補助を使用しますか?: 使用しない 使用する

③ 空白の補助を使用しますか?: 使用しない 使用する

総勘定元帳は合計転記しますか?: しない する

補助科目名称を摘要欄に転記しますか?: 転記しない 転記する

消費税管理資料に補助明細を出力しますか?: 出力しない 出力する

拡張補助情報の登録

カーソル移動設定: 横移動 縦移動

コード	補助科目名称	フリガナ	課税区分	標準税率	税率変更	入力区分	請求区分	帳簿のみ保存の特例
	補助コード指定なし	ホツヨコトナシ		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
001	A社(適格)	Aシャ(テキカク)		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
002	B社(不明)	Bシャ(ケイブン)		0:0.00%	変更なし	税外	9:不明	
003	C社(免税)	Cシャ(メンゼイ)		0:0.00%	変更なし	税外	4:控除	
004	D社(特例)	Dシャ(トクレイ)		0:0.00%	変更なし	税外	3:特例	6:古物商特例
005	E社(適格)	Eシャ(テキカク)		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	

請求区分 (変更前)

3:特例

0:なし

1:あり

2:以外

3:特例

4:控除

9:不明

請求区分

あり

なし

あり

以外

不明

帳簿のみ保存の特例

0:公共交通機関特例

1:出張旅費等特例

2:自動販売機特例

3:回収特例

4:郵便切手等特例

5:質屋特例

6:古物商特例

7:再生資源等特例

8:宅地建物特例

① 請求区分 (請求書等有無区分)

「適格請求書発行事業者からの課税仕入」の場合は“1:あり”又は“2:以外”を選択します。
 「適格請求書発行事業者以外からの課税仕入」の場合は“4:控除”を選択します。
 「帳簿のみ保存の特例」の場合は“3:特例”を選択します。
 分類が不明の場合は“9:不明”を選択します。(あとから検索が可能です。)

② 帳簿のみ保存の特例

「請求区分 (請求書等有無区分)」で“3:特例”を選択した場合に入力することが可能です。
 対象となる特例名称をガイドから選択してください。

③ 空白の補助を使用しますか

今まで補助科目を使用していなかった場合は“使用する”に設定してください。仕訳入力時に未分類で登録されていたものは“補助コード指定なし”に集計されます。

インボイス

補助科目を一括で登録する (F3 : 補助一括登録)

すでに登録している補助科目を使用して、各勘定科目に補助科目をまとめて登録できます。

<操作説明>

①他の科目に登録したい補助を選択します。(コード欄の左側をドラッグで範囲選択できます)

科目コード: 413 買掛金 課税区分: 0 税率区分: 0.00%

補助関連設定
 補助を使用しますか?: 使用しない 使用する
 空白の補助を使用しますか?: 使用しない 使用する
 総勘定元帳は合計転記しますか?: しない する
 補助科目名称を摘要欄に転記しますか?: 転記しない 転記する
 消費税管理資料に補助明細を出力しますか?: 出力しない 出力する

コード	補助科目名称	フリガナ	課税区分
	補助コード指定なし	ホウゴコードジ	
001	A社(適格)	Aシャ(テカク)	
002	B社(不明)	Bシャ(メイ)	
003	C社(免税)	Cシャ(メンゼイ)	
004	D社(特例)	Dシャ(トケイ)	

補助科目			使用勘定科目一覧		
No.	コード	補助科目名称	No.	コード	勘定科目名称
1	001	A社(適格)	1	712	仕入高(補助)
2	002	B社(不明)	2		
3	003	C社(免税)	3		
4			4		

② [F3 : 補助一括登録] を選択します。

F1 ヘルプ F2 補助一覧呼出 **F3 補助一括登録** F4

「補助科目」
【補助科目情報登録】画面で選択した補助科目がすべて表示されます。

③「使用勘定科目一覧」
「補助科目」に表示されている補助科目を登録する勘定科目を選択してください。

④ [F10: 開始] を押してください。
一括登録処理が開始されます。

F8 行削除 F9 **F10 開始** F11 F12 閉じる

科目コード: 712 仕入高(補助) 課税区分: 40 税率区分: 自動設定 入力区分: 税込み 請求区分: あり

補助関連設定
 補助を使用しますか?: 使用しない 使用する
 空白の補助を使用しますか?: 使用しない 使用する
 総勘定元帳は合計転記しますか?: しない する
 補助科目名称を摘要欄に転記しますか?: 転記しない 転記する
 消費税管理資料に補助明細を出力しますか?: 出力しない 出力する

カーソル移動設定: 横移動 縦移動

コード	補助科目名称	フリガナ	課税区分	標準税率	税率変更	入力区分	請求区分	帳簿のみ保存の特例
	補助コード指定なし	ホウゴコードジ		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
001	A社(適格)	Aシャ(テカク)		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
002	B社(不明)	Bシャ(メイ)		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
003	C社(免税)	Cシャ(メンゼイ)		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
004	D社(特例)	Dシャ(トケイ)		0:0.00%	変更なし	税外	3:特例	6:古物商特例
005	E社(適格)	Eシャ(テカク)		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	

⑤補助ごとに必要に応じて各区分の訂正をおこないます。



注意

すでに補助科目を登録している勘定科目で、「補助科目」に表示されている補助コードと同じコードが登録されている場合、一括登録をおこなうと名称や区分が上書きされます。

コード	補助科目名称	請求区分	帳簿のみ保存の特例	請求区分	帳簿のみ保存の特例
	補助コード指定なし	2:以外		2:以外	
001	A社(適格)	2:以外		2:以外	
002	B社(不明)	9:不明		2:以外	
003	C社(免税)	4:控除		2:以外	
004	D社(特例)	3:特例	6:古物商特例	3:特例	6:古物商特例
005	E社(適格)	2:以外		2:以外	



Point

補助科目に課税区分を設定する場合（軽減税率など）は、主勘定の課税区分を「99：混在」に設定します。

『32. 勘定科目情報登録・訂正』で課税区分を変更できます。

使用	科目 コード	勘定科目名称	要素	合計 転記	課税 区分
<input checked="" type="checkbox"/>	712	商品仕入	商品仕入高	<input type="checkbox"/>	40

➔

課税 区分
99

・・・主勘定の課税区分が「99：混在」の場合、仕訳入力の際に「課税区分欄」にカーソルが止まります。

削 決	No.	月 日	借 方				貸 方				金 額	
			内部取 コード	入力 コード	税率	課区 請求	コード	入力 コード	税率	課区 請求		
	23	10	1	712	商品仕入							
			<input type="checkbox"/>		税込	10%	40	あり				

「補助集計表」

グループメニュー【04. 補助管理処理】の『51. 補助集計表出力』で、補助を設定済の勘定科目や補助コードの内容を確認することができます。

プリンタ設定 ※リダイレクトプリンタ選択中
使用するプリンタ: NEC Color MultiWriter 4F150 プリンタ設定
カラー区分: 白黒

プレビュー準備が完了次第すぐに表示する 部数加算 部数クリア

帳表名称: 補助集計表 部数: 1部

出力方法: 印刷 プレビュー PDF Excel
複数ページ印刷: 通常 2面印刷
出力区分: 当期 翌期
出力月: 9月
決算仕訳: 含む 含まない
金額単位: 円 千円

残高のない科目
出力しない 出力する

出力する科目
全て 範囲指定 科目指定
科目範囲: _____ ~ _____

除外科目
コード 勘定科目名称

補 助 集 計 表

00001 4章まで説明用

自 令和 4年 11月 1日
至 令和 5年 10月 31日 令和 5年 8月現在 11ヶ月目 単位 円 1頁

勘 定 科 目	前月残高	当 月 発 生		当月残高	構 成 比	期 首 残 高	構 成 比	当 期 累 計			
		借 方 発 生	貸 方 発 生					借 方 累 計	貸 方 累 計	増 減	
【発 削 金】413											
補助コード指定なし	0		980,000	980,000	100.00	0			980,000		980,000
A社(通格) 001	0			0	0	0					
B社(通格) 002	0			0	0	0					
C社(免税) 003	0			0	0	0					
D社(特別) 004	0			0	0	0					
合 計	0		980,000	980,000	100.00	0			980,000		980,000
【仕入高(補助) 712											
補助コード指定なし	0	980,000		980,000	100.00	0		980,000			980,000
A社(通格) 001	0			0	0	0					
B社(通格) 002	0			0	0	0					
C社(免税) 003	0			0	0	0					
D社(特別) 004	0			0	0	0					
E社(通格) 005	0			0	0	0					
合 計	0	980,000		980,000	100.00	0		980,000			980,000

3-2-3 簡易課税の場合

『32. 勘定科目情報登録・訂正』

課税区分・・・事業分類をする場合、課税区分欄にカーソルを合わせると、11～16、21～26 で業種の選択がおこなえます。科目ごとに業種を指定しておく、仕訳入力時に自動で分類がおこなえます。

使用	科目コード	勘定科目名称	要素	合計 転記	課税 区分	標準 税率
<input checked="" type="checkbox"/>	811	商品売上高	商品売上高	<input type="checkbox"/>	12	自動設定
<input checked="" type="checkbox"/>	812	売上高 1	売上高 1	<input type="checkbox"/>	15	自動設定
<input checked="" type="checkbox"/>	813	売上高 2	売上高 2	<input type="checkbox"/>	10	自動設定

課税区分

区分	課税区分名称
0	不課税
10	課税売上
11	課税売上(第1種事業)
12	課税売上(第2種事業)
13	課税売上(第3種事業)
14	課税売上(第4種事業)
15	課税売上(第5種事業)
16	課税売上(第6種事業)

例：811 商品売上→第二種事業

削 決	No.	月日	借方					貸方					金額	摘要				
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区			請求			
	16	5/16	<input type="checkbox"/>	111	現金						811	商品売上高						
			<input type="checkbox"/>		税外 0%		0	以外				税込 10%		12	以外	内	89,080	

仕訳入力時に 811 を入力することにより、課税区分が「12：課税売上（第2種事業）」に自動的に変わります。

『33. 補助科目情報登録・訂正』

コード	補助科目名称	表示補助科目名称	フリガナ	課税 区分	標準税率
001	第二種事業	第二種事業	ダイニシュギキ	12	自動設定
002	第五種事業	第五種事業	ダイゴゴシュギキ	15	自動設定

課税区分

区分	課税区分名称
0	不課税
10	課税売上
11	課税売上(第1種事業)
12	課税売上(第2種事業)
13	課税売上(第3種事業)
14	課税売上(第4種事業)
15	課税売上(第5種事業)
16	課税売上(第6種事業)

主勘定の課税区分が「99：混在」の場合に補助科目に課税区分の設定がおこなえます。

補助科目の課税区分・・・事業分類を補助科目を使用して設定することができます。

削 決	No.	月日	借方					貸方					金額	摘要			
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区			請求		
	20	5/1	<input type="checkbox"/>	111	現金						813	売上高 2					
			<input type="checkbox"/>		税外 0%		0	以外				税込 10%		12	以外	内	

◎e-PAP ユーザーラウンジ よくある質問～財務・経理～

Q 仕訳入力中に接待交際費などの費用科目を入力すると、課税区分欄にカーソルが止まるのですが、止めずに入力をする方法がありますか？

削 決	No.	月日	借方					貸方					金額	摘要			
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区			請求		
	1	6/1	<input type="checkbox"/>	747	接待交際費												
			<input type="checkbox"/>		税込 10%		40	外									

A e-PAP 財務会計システムメニュー『01 事前登録処理』→『32 勘定科目情報登録・訂正』で該当する科目の課税区分を「99：混在」から「40：課税仕入」等に変更するとカーソルが止まらなくなります。

使用	科目コード	勘定科目名称	表示科目名称	フリガナ	分類	要素	合計 転記	課税 区分
<input checked="" type="checkbox"/>	747	接待交際費	接待交際費	セツウカウカイ	販売費一般管理費	接待交際費	<input type="checkbox"/>	40

3-2-4 摘要を使用して区分する場合『34. 摘要登録・訂正』

※※連想摘要を使用して区分する場合の運用※※

- ・ 補助科目で分類しなくても「請求書等有無区分」の設定を仕訳に反映することができます。連想摘要で区分していて「帳簿のみ保存の特例」を指定して仕訳を確認する場合は仕訳連続検索が可能です。
- ・ 日記帳画面、元帳画面の指示では「帳簿のみ保存の特例」の指定がありません。

本則課税の場合

- ① 摘要課税区分・税率区分
 摘要の語句を使って、課税・不課税の分類や、軽減8%・10%の分類をすることが可能です。

※ 消費税区分は摘要に設定しなくても仕訳入力ガイドから選択することも入力可能です。

< 摘要登録機能と利用例 >

		内容
連想摘要	勘定科目コードに対して摘要を複数登録できます。	
	登録	①科目「接待交際費」に【香典】(課税区分0)を登録する。 ②科目「旅費交通費」に帳簿のみ保存の特例区分を登録する ③科目「仕入高(摘要)」に【A社(適格)】(請求1あり) 【B社(不明)】(請求9不明) 【C社(免税)】(請求4控除) 【D社(特例)】(請求3特例) をそれぞれ登録する。
コード摘要	3桁のコード(000~999)に摘要を各一つ登録できます。	
	登録	④コード「021」に【A社(適格)】(請求1あり) コード「022」に【B社(不明)】(請求9不明) コード「023」に【C社(免税)】(請求4控除) コード「024」に【D社(特例)】(請求3特例) をそれぞれ登録する。
キー摘要	任意のキーワードを作成し、そのキーワードに摘要を複数登録します。	
	登録	⑤キーワード「シイレ」を新規作成し、 【A社(適格)】(請求1あり) 【B社(不明)】(請求9不明) 【C社(免税)】(請求4控除) 【D社(特例)】(請求3特例) を登録する。

連想摘要



連想摘要登録-訂正

連想摘要

科目コード: 737 旅費交通費

カーソル移動設定: ●横移動

No.	摘要	税率	入力	請求	帳簿のみ保存の特例
1	定期券代			3:特例	1:出張旅費等特例
2	通勤費代			3:特例	1:出張旅費等特例
3	出張日当			3:特例	1:出張旅費等特例
4	出張旅費			3:特例	1:出張旅費等特例
5	海外出張旅費				
6	出張仮払精算				
7	有料道路代				
8	駐車料				
9	切符代			3:特例	0:公共交通機関特例

連想摘要

科目コード: 7143 仕入高(摘要)

カーソル移動設定: ●横移動 ○縦移動

No.	摘要	課税	税率	入力	請求	帳簿のみ保存の特例
1	A社(適格)				1:あり	
2	B社(不明)				9:不明	
3	C社(免税)				4:控除	
4	D社(特例)				3:特例	6:古物商特例

月次 期間(S) 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 決算 翌11月 翌12月 翌1月 [本則 併用入力]

連想摘要一覧表

仕入高(摘要)		現金	
01 A社(適格)	有	61 預金預入	63 社債利札
02 B社(不明)	不	62 現金過不足	64 小口現金
03 C社(免税)	控	63 仮払領収書	65 預金引出
04 D社(特例)	特	64 支払通知書	66 現金過不足
		65 送金小切手	67 先日付小切手
		66 送金為替手形	
		67 郵便為替証書	
		68 郵便振替貯金払出	
		69 預金手形	
		70 株式配当金領収証	
		71 期限到来公社債利	
		72 他人振出当座小切	

削	No.	月日	借方	貸方	金額	摘要
決		10/1	7143 仕入高(摘要)	111 現金	50,000	C社(免税)
			税込 10%	40 80控	46,364	
			税外 0%	0 以外 内	3,636	

「帳簿のみ保存の特例」の入力...「+番号(付外番号)」を入力し、[Enter]キーを押します。
1行上の仕訳伝票の内容をコピー...「*」を入力し、[Enter]キーを押します。

確認

コード摘要

コード摘要登録・訂正

コード摘要

カーソル移動設定: ●横移動 ○縦移動

No.	摘要	課税	税率	入力	請求	帳簿のみ保存の特例
021	A社(適格)				1:あり	
022	B社(不明)				9:不明	
023	C社(免税)				4:控除	
024	D社(特例)				3:特例	6:古物商特例
025						

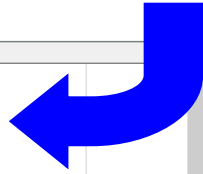
コード摘要一覧表

月分	摘要	有無
001 1月分	021 A社(適格)	有
002 2月分	022 B社(不明)	不
003 3月分	023 C社(免税)	控
004 4月分	024 D社(特例)	特
005 5月分	100 J R	込 自%40 特
006 6月分	101 出張	込 自%40 特
007 7月分	102 お茶代(外注、下請けの方)	込 整0%40 特
008 8月分	103 入場料(〇〇社)	込 自%40 特
009 9月分	104 切手等	込 自%40 特
010 10月分		
011 11月分		
012 12月分		

削決	No.	月日	借方	貸方	金額	摘要
		内部取	コード 入力 税率 課区 請求	コード 入力 税率 課区 請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例 付加情報 付箋 確マ
	7	10 1	7143 仕入高(摘要)	111 現金	50,000	C社(免税)
			税込 10% 40 80控	税外 0% 0 以外 内	46,364	
					3,636	

「帳簿のみ保存の特例」の入力... * 番号(か)番号 * を入力し、[Enter]キーを押します。
1行上の仕訳伝票の内容をコピー... * を入力し、[Enter]キーを押します。

確認



キー摘要

キー摘要登録・訂正

キー摘要

カーソル移動設定: ●横移動 ○縦移動

No.	キー	No.	摘要	入力	請求	帳簿のみ保存の特例
1	シレ	1	A社(適格)		1:あり	
2		2	B社(不明)		9:不明	
3		3	C社(免税)		4:控除	
4		4	D社(特例)		3:特例	6:古物商特例

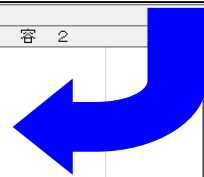
キー摘要一覧表

キー項目	摘要内容 1	摘要内容 2
シレ	01 A社(適格)	有
	02 B社(不明)	不
	03 C社(免税)	控
	04 D社(特例)	特

削決	No.	月日	借方	貸方	金額	摘要
		内部取	コード 入力 税率 課区 請求	コード 入力 税率 課区 請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例 付加情報 付箋 確マ
	1	10 1	7143 仕入高(摘要)	111 現金	50,000	C社(免税)
			税込 10% 40 80控	税外 0% 0 以外 内	46,364	
					3,636	

「帳簿のみ保存の特例」の入力... * 番号(か)番号 * を入力し、[Enter]キーを押します。
1行上の仕訳伝票の内容をコピー... * を入力し、[Enter]キーを押します。

確認



3-3 消費税課税区分ガイド表示設定

『35. 消費税課税区分ガイド表示設定』を選択してください。
 課税区分のガイド項目の表示設定と表示順序を設定します。仕訳伝票入力時に「課税区分」ガイドに表示される項目はここで設定します。仕訳入力画面からも設定がおこなえます。

輸出関連の課税区分の表示
 表示しない 表示する

輸入関連の課税区分の表示
 表示しない 表示する

特定課税仕入(リバースチャージ)、消費者向け国外電気通信役務関連の課税区分の表示
 表示しない 表示する

棚卸資産の調整関連の課税区分の表示
 表示しない 表示する

コード	課税区分
1	0 不課税
2	10 課税売上
3	20 対価の返還(課税売上)
4	30 輸出売上
5	31 対価の返還(輸出売上)
6	32 輸出売上(非課税資産)
7	33 対価の返還(非課税輸出)
8	34 非課税売上
9	35 対価の返還(非課税売上)
10	36 有価証券等の譲渡
11	37 課税売上に係る貸倒れ回収
12	40 課税仕入(課税売上に係る仕入)
13	41 対価の返還(課税売上に係る仕入)
14	42 課税売上に係る特定課税仕入
15	43 課税売上に係る特定課税仕入の返還
16	44 課税売上に係る消費者向け国外電気通信役務
17	45 課税売上に係る課税貨物
18	46 課税売上に係る課税貨物 国税
19	47 課税売上に係る課税貨物 地方消費税
20	50 課税仕入(非課税売上に係る仕入)
21	51 対価の返還(非課税売上に係る仕入)
22	52 非課税売上に係る特定課税仕入
23	53 非課税売上に係る特定課税仕入の返還

それぞれの項目で“表示しない”を選択した場合に、グレーで表示される課税区分につきましては、ヘルプで説明しています。

“表示しない”を選択すると、グレーになり、仕訳伝票入力時に非表示になります。

＜表示順序を変更の仕方＞
 ● 区分名を選択し、矢印キーで変更したい位置へ移動できます。
 ● 区分名を選択し、**F2：上移動**、**F3：下移動**キーを押し続けることでも移動可能です。

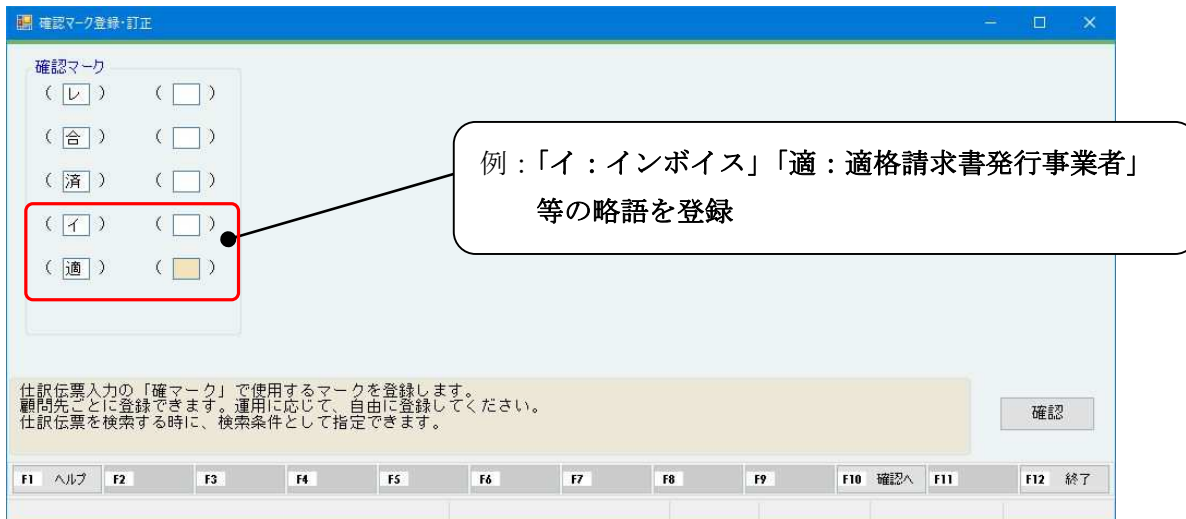
仕訳伝票入力画面の「課税区分」ガイドに反映されます。

「輸出関連の課税区分の表示」
 「輸入関連の課税区分の表示」
 「特定課税仕入（リバースチャージ）、消費者向け国外電気通信役務関連の課税区分の表示」
 「棚卸資産の調整関連の課税区分の表示」のすべてで“表示しない”を選択した場合

3-4 確認マーク登録・訂正

『40. 確認マーク登録・訂正』を選択してください。仕訳伝票入力「確マーク」で使用するマークを登録します。

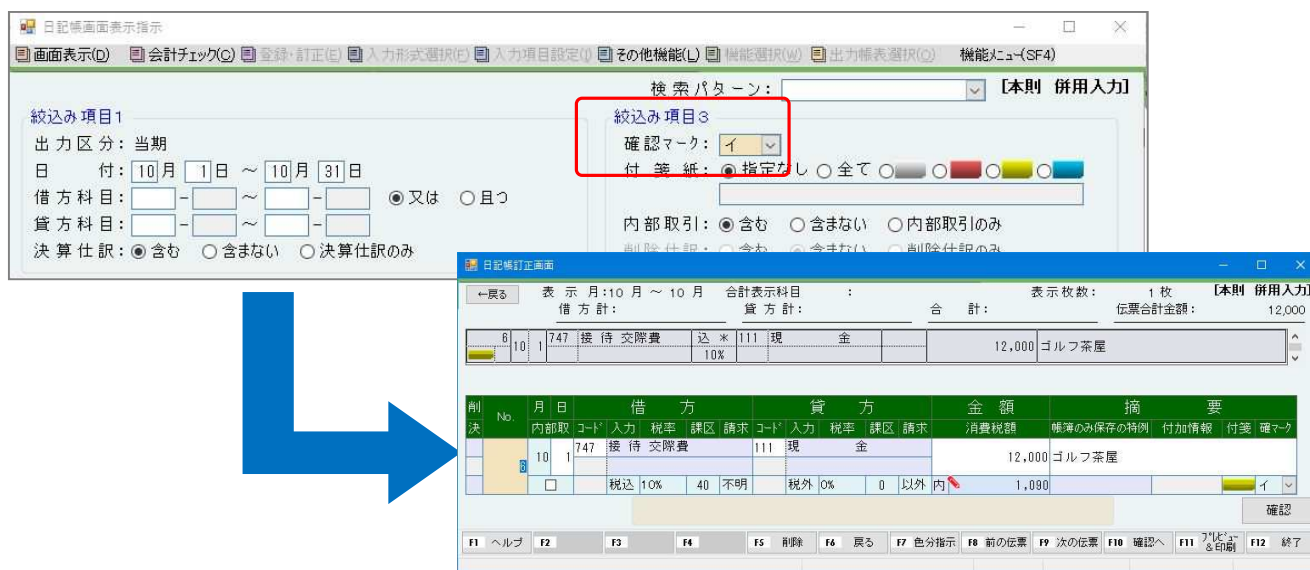
顧問先ごとに登録できます。運用に応じて、自由に登録してください。仕訳伝票を検索する時に、検索条件として指定できます。



仕訳伝票入力で選択をすると、日記帳画面等で確認マークを指定して検索することが可能です。



【画面表示】 - 【日記帳画面表示指示】



仕訳入力・インボイス制度開始以降の確認事項

インボイス

令和5年10月以降の仕訳入力に際して、確認事項をまとめています。

The screenshot shows the '単一伝票入力 (財務II形式)' window. At the top, the period is set to '令和4年11月1日 ~ 令和5年10月31日'. A red box labeled '③' highlights the '[本則 併用入力]' button. Below, the '消費税率区分一覧表' is visible. A red box labeled '②' highlights the '請求書等有無区分' dropdown menu, which is currently set to '0 請求書なし'. At the bottom, a red box labeled '①' highlights a journal entry for 10/1 with a tax rate of 10% and a tax amount of 10,000. The entry details show a debit for '仕入高5' and a credit for '現金', with a tax rate of 10% and a tax amount of 10,000.

① 仕訳入力欄

9月の仕訳入力画面もインボイス対応状態になります。

9月	No.	月日	借方				貸方				金額	摘要
			内部取	コード	入力	税率 課区 請求	コード	入力	税率 課区 請求	消費税額		
	9	1	712		仕入高(補助)	413		買掛金	980,000	掛仕入高〇〇月分		
					補助コード指定なし							
					税込 10% 40 1			税外 0% 0 以外 内	89,090			

10月	No.	月日	借方				貸方				金額	摘要
			内部取	コード	入力	税率 課区 請求	コード	入力	税率 課区 請求	消費税額		
	3	10	712		仕入高(補助)	413		買掛金	1,100,000	C社(免税)		
			003		C社(免税)	003		C社(免税)	1,020,000			
					税込 10% 40 4			税外 0% 0 以外 内	80,000			

② 適格請求書等の有無、帳簿保存の特例等の入力

「請求書等有無区分」で、適格請求書等に関連する登録をおこないます。

仕訳伝票の日付が「令和5年10月1日以降」の場合は、プログラムで判断し、「請求書等有無区分」の入力ガイドがわかります。

9/30 以前	10/1 以降
<p>請求書等有無区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 請求書なし 1 請求書あり 2 課税仕入以外の取引 9 不明 	<p>請求書等有無区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 請求書なし 1 適格請求書あり 2 課税仕入以外の取引 3 帳簿のみ保存の特例 4 80%控除対象 9 不明

「3.帳簿のみ保存の特例」を選択した場合に「摘要」で「入力ガイド」が表示されます。

帳簿のみ保存の特例	
+0 公共交通機関特例	税込3万未満
+1 出張旅費等特例	
+2 自動販売機特例	税込3万未満
+3 回収特例	
+4 郵便切手等特例	
+5 買戻特例	
+6 古物商特例	
+7 再生资源等特例	
+8 宅地建物特例	

インボイス

④ 適格請求書がある場合の入力

適格請求書がある場合は、「請求書等有無区分」で“1：適格請求書あり（あり）”を選択します。

適格請求書に従って、10%対象と8%対象を別々に入力します。

「請求書等に記載された消費税額」と「自動計算された消費税額」が端数処理の関係で異なる場合は、請求書等にあわせて消費税額を訂正します。

パティスリーS TEL：03-3256-1201 登録番号：TXXXXXXXXXXX			
2023年10月30日 11:30			
焼き菓子	＊	5点	198 990 円
焼き菓子	＊	5点	157 785 円
ゼリー	＊	3点	348 1,044 円
箱		1点	150 150 円
袋		1点	50 50 円
		8%対象計	3,045 円
		(内 消費税額)	226 円
		10%対象計	220 円
		(内 消費税額)	20 円
合計	お預	お約	
		8%対象計	3,045 円
		(内 消費税額)	226 円
		10%対象計	220 円
		(内 消費税額)	20 円

00002 株式会社 サンプル										法人	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		Web						
月次	期間(S)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	決算	翌4月	翌5月	翌6月	【本則 併用入力】	
消費税区分一覧表																			
入力区分	税率区分	課税区分										請求書等有無区分							
0 税外	0 0.00%	0 不課税	41 対価の返還(課税売上に係る仕入)	0 請求書なし															
1 税抜き	1 3.00%	10 課税売上	42 課税売上に係る特定課税仕入	1 適格請求書あり															
2 税込み	2 5.00%	20 対価の返還(課税売上)	43 課税売上に係る特定課税仕入の返還	2 課税仕入以外の取引															
	3 8.00%	30 輸出売上	44 課税売上に係る消費者向国外電気通信	3 帳簿のみ保存の特例															
	4 軽8.00%	31 対価の返還(輸出売上)	45 課税売上に係る課税貨物	4 80%控除対象															
	5 10.00%	32 輸出売上(非課税資産)	46 課税売上に係る課税貨物 国税	9 不明															
6	10 30	747 接待交際費	111 現金	3,045	パティスリーS E社 手土産(菓子)	8%対象													
		税込 軽8%	40 あり	225															
削	No.	月日	借方	貸方	金額	摘要													
7		10 30	747 接待交際費	111 現金	220	パティスリーS E社 手土産(箱・袋)	10%対象												
			税込 10%	40 あり	20														

「入力区分」が「税込」の場合、「消費税額」を訂正できます。

「消費税額」の入力欄の左に赤ペン  が表示されている場合に、訂正できます。

例) 「請求書等に記載された消費税額 (226 円)」と「自動計算された消費税額 (225 円)」が異なるため、請求書等にあわせて“226 円”に訂正します。

<訂正方法>

- ① 「消費税額 (225 円)」で、[Space (スペース)] キーを選択します。
- ② 訂正したい金額 (226 円) を入力します。(入力欄が緑色になります。)
- ③ [確認] を選択して仕訳伝票を登録します。

削	No.	月日	借方	貸方	金額	摘要
6		10 30	747 接待交際費	111 現金	3,045	パティスリーS E社 手土産(菓子)
			税込 軽8%	40 あり	226	
F1 ヘルプ F2 案内前進 F3 案内後退 F4 電卓 F5 削除 F6 追加 F7 F8 前の伝票 F9 次の伝票 F10 確認 F11 伝票番号検索 F12 終了						

[F4 : 電卓] を選択すると、電卓機能が利用できます。

例 算出消費税額(端数)を電卓で計算して確認する方法

- ① 税抜金額 (3,045) を入力し、[*]キー (×) を押します。
 - ② 税率 (8) を入力し[/]キー (÷) を押します。
 - ③ (108) を入力し[Enter]を押します。 『255.55555~』
 - ④ 算出消費税額が金額欄に表示されます。
- ※小数点以下の数値は円未満切捨て金額欄に表示されます。

225.555555555556			
BS	CE	C	
MC	7	8	9 / √
MR	4	5	6 * %
MS	1	2	3 - 1/x
M+	0	+/-	+ =
0	以外	内	225

⑤ 「免税事業者からの課税仕入れに係る経過措置」を適用する場合の入力

【仕訳入力時に「税抜本体金額」「消費税額」を確認する方法】

「金額」は、「入力区分」にかかわらず、税込金額（支払総額）で入力します。

「請求書等有無区分」で“4：80%控除対象（80控）”を選択します。

「金額」が2段に分かれ、下段に税抜本体金額が表示されます。

入力区分	税率区分	課税区分	請求書等有無区分
0 税外	0 0.00%	0 不課税	0 請求書なし
1 税抜き	1 3.00%	10 課税売上	1 適格請求書あり
2 税込み	2 5.00%	20 対価の返還(課税売上)	2 課税仕入以外の取引
	3 8.00%	30 輸出売上	3 帳簿のみ保存の特例
	4 軽8.00%	31 対価の返還(輸出売上)	4 80%控除対象
	5 10.00%	32 輸出売上(非課税資産)	9 不明

A商店（免税業者）からの仕入の場合

「金額」には、“11,000(税込金額)”を入力します。

「消費税額」には、“800（「1,000(税抜金額)」×80%）」が表示されます。

「税抜本体金額（金額下段）」には、“10,200（「11,000(税込金額)」 - 「800(消費税額)」）が表示されます。

税込入力

削決	No.	月日	借方				貸方				金額	摘要						
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク
	1	10		7141	仕入高(免税)				413	買掛金				11,000				
						税込	0%	40	80控	003				10,200				
									税外	0%		0	以外	800				

確認

税抜本体金額

※ 「入力区分」が“1. 税抜”の場合でも、税額仕訳伝票の入力は不要です。

【消費税処理設定】の「税抜仕訳の入力方法」が“税額を別仕訳で入力”の場合も、税額仕訳伝票の入力は不要です。

「80控」の元帳プレビュー

総勘定元帳 [課税：40 課税売上対応]
科目：7141 仕入高(免税) 1頁

5年月日	伝票No.	相補手科	目	摘要	消費税区分等	借方	貸方	残高
10. 1	11	413 買掛金	003 C社(免税)	C社(免税)	込* 10%控	11,000	80%控除対象 (800)	11,000
				10月計		11,000		

税込入力



Point

「80控」と「控80」の区別

「80控」(区分「4」)・・・起票時に80%を反映するため、控除の前に80と表現

「控80」(区分「5」)・・・期末に80%を反映するため、控除の後ろに80と表現

【経過措置の税額を期末に振替する方法】

インボイス

事前準備

『01 事前登録処理』 → 「31 基本情報登録・訂正」【消費税処理設定】

“経過措置の税額を期末振替する請求区分を使用する” を選択している場合

適格請求書等保存方式 - 仕入税額控除の経過措置の設定

- 経過措置の終了後も値引・返品等で使用する
 経過措置の税額を期末振替する請求区分を使用する

「請求書等有無区分」に“5：80%控除対象（期末）（控 80）”が表示されます。“5：80%控除対象（期末）（控 80）”を選択して、仕訳伝票を入力した場合は、期末に振替処理が必要です。

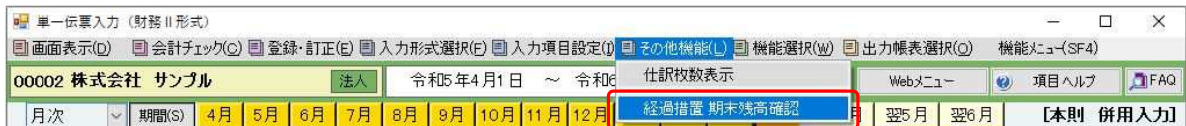
削 決	No.	月日	借方				貸方				金額		摘要
			内部取 コード	入力 コード	税率	課区	請求	内部取 コード	入力 コード	税率	課区	請求	
	4	10	7144				413	買掛金				110,000	〇社（免税）
					税込 10%	40	控80	税外 0%	0	以外 内		10,000	

請求書等有無区分	
0	請求書なし
1	適格請求書あり
2	課税仕入以外の取引
3	帳簿のみ保存の特例
4	80%控除対象
5	80%控除対象（期末）
9	不明

「請求区分」で“5：80%控除対象（期末）（控 80）”を選択した場合は、「税抜本体金額（金額下段）」は表示されません。

< 1 3 月 > … 振替処理

①メニューバー「その他機能」⇒「経過措置 期末残高確認」を選択してください。



②【経過措置 期末残高確認】が表示され、「請求書等有無区分」が“5：80%控除対象（期末）（控 80）”の仕訳伝票の期末金額（振替額）が確認できます。

税率	課税	借方 消費税額	貸方 消費税額	借方 振替額	貸方 振替額	振替額 合計
10%	40	10,000		2,000		2,000

※画面の印刷または金額のメモをお願いします。

③②を基に振替をおこなう仕訳伝票を入力します。次のように入力します。

A. 「消費税の算出方法 仕入」が“積上計算方式”の場合

「請求書等有無区分」で“5：80%控除対象（期末）（控 80）”を選択し、金額等を入力します。

削 決	No.	月日	借方				貸方				金額		摘要
			内部取 コード	入力 コード	税率	課区	請求	内部取 コード	入力 コード	税率	課区	請求	
	1	13 31	785	雑損失			142	仮払消費税等				2,000	免税業者の経過措置
					税外 0%	0	以外	税外 10%	40	控80			

B. 「消費税の算出方法 仕入」が“割戻計算方式”の場合

「課税区分」で“80 消費税精算”を選択し、金額等を入力します。

削 決	No.	月日	借方				貸方				金額		摘要
			内部取 コード	入力 コード	税率	課区	請求	内部取 コード	入力 コード	税率	課区	請求	
	1	13 31	785	雑損失			142	仮払消費税等					
					税外 0%	0	以外	税外 0%	80	以外			

消費税区分一覧表	
課税区分	
61 対価の返還(課税・非課税売上共通)	80 消費税精算
62 課税・非課税共通特定課税仕入	81 中間納付税額(国税)

※③のAの仕訳伝票を入力後、【経過措置 期末残高確認】を表示すると、振替をおこなう仕訳伝票も集計に含まれます。（「貸方 消費税額」に2,000円が集計され、「振替額 合計」が変わります。）仕訳伝票の追加や訂正をおこない、金額が変わった場合は、一旦、③のAの仕訳伝票を削除してから、【経過措置 期末残高確認】を表示してください。

税率	課税	借方 消費税額	貸方 消費税額	借方 振替額	貸方 振替額	振替額 合計
10%	40	10,000	2,000	2,000	400	1,600

◆ インボイスの保存がなくてもよい少額取引（1万円未満）の入力

「請求書等有無区分」は、“1：適格請求書あり（あり）” [初期値] を選択して、入力します。
（“0：請求書なし（なし）” での入力も可能です。）

削 決	No.	月 日	借 方				貸 方				金 額	帳簿のみ保存				
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力			税率	課区	請求	
	5	10/20		713	仕入高(適格)		111	現 金				8,800	B社			
			<input type="checkbox"/>		税込	10%	40	あり		税外	0%	0	以外	内	800	

請求書等有無区分

0 請求書なし

1 適格請求書あり

2 課税仕入以外の取引

3 帳簿のみ保存の特例

4 80%控除対象

9 不明

◆ 1万円未満の返品や値引きの場合や返還インボイスが不要の場合の入力

「請求書等有無区分」は、“0：請求書なし（なし）” を選択して、入力します。

削 決	No.	月 日	借 方				貸 方				金 額	帳簿のみ保存				
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力			税率	課区	請求	
	6	10/25		111	現 金		715	仕入値引戻し高				5,500	B社			
			<input type="checkbox"/>		税外	0%	0	以外		税込	10%	41	なし	内	500	

請求書等有無区分

0 請求書なし

1 適格請求書あり

2 課税仕入以外の取引

3 帳簿のみ保存の特例

4 80%控除対象

9 不明

◆ 売手が負担する振込み手数料等の入力

「課税区分」で、“20：対価の返還(課税売上)” ～ “26：対価の返還(第6種事業売上)” を選択できるようになりました。

削 決	No.	月 日	借 方				貸 方				金 額	摘 要						
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力		税率	課区	請求	消費税額	拡張摘要	付加情報	付箋紙
	3	10/1		742	支払手数料		132	売 掛 金				440	轉○○10月分売上	振込差額				
			<input type="checkbox"/>		税込	10%	20	以外		税外	0%	0	以外	内	40			

支払手数料（販売費一般管理費）、支払手数料（製造原価 経費）の場合に、“20” ～ “26” が選択できるようになりました。

※ 『e-PAPユーザーラウンジ』で、詳しい入力方法を掲載しています。

[TOP](#) ▶ [e-PAPユーザーラウンジ](#) ▶ [ワンポイントアドバイス](#) ▶ [財務・経理](#) ▶ インボイス制度施行後の売手が負担する振込手数料等の取り扱いについて

インボイス制度施行後の売手が負担する振込手数料等の取り扱いについて

インボイス制度施行後の売手が負担する振込手数料等の取り扱いについて

売手負担の振込手数料は、発注前に書面等で合意がある上で、商品の販売代金等の支払いの際に振込手数料を差し引いて支払った分の振込手数料のことで、インボイス制度前は、3万円未満の取引について帳簿のみの保存で仕入税額控除ができるため、請求書等を保存する必要はありませんでした。インボイス制度後は、3万円未満の取引の帳簿のみ保存の特例が廃止されるため、運用の見直しが必要です。

5-1 消費税区分（請求書等有無区分他）の管理例

【適格請求書発行事業者からの仕入】

本則課税の場合

① 10/1 7144（仕入）/111（現金） ¥110,000

インボイス

消費税込別一覧表

入力区分	税率区分	課税区分
0 税外	0 0.00%	0 不課税
1 税抜き	1 3.00%	10 課税売上
2 税込み	2 5.00%	20 対価の返還(課税売上)
	3 8.00%	30 輸出売上
	4 軽8.00%	31 対価の返還(輸出売上)
	5 10.00%	32 輸出売上(非課税資産)
	9 不明	33 対価の返還(非課税輸出)
		34 非課税売上
		35 対価の返還(非課税売上)
		36 有価証券等の譲渡
		37 課税売上に係る貸倒れ回収
		40 課税仕入(課税売上に係る仕入)
		52 非課税売上に係る特定課税仕入
		53 非課税売上に係る特定課税仕入の返還
		54 非課税売上は

請求書等有無区分

0 請求書なし
1 請求書あり
2 課税仕入以外の取引
3 帳簿のみ保存の特例
4 80%控除対象
9 不明

仕訳伝票の日付が“令和5年9月30日以前”の場合

請求書等有無区分

0 請求書なし
1 請求書あり
2 課税仕入以外の取引
9 不明

【入力のポイント】
消費税関係区分は課税・非課税が混在する科目の場合を除き、その都度入力しなくても勘定科目の情報より自動的にセットされます。変更したい場合はカーソルをあわせてうちかえてください。

【インボイス入力のポイント】
請求区分の初期値「あり」が自動的にセットされます。変更したい場合はカーソルをあわせてうちかえてください。

No.	月日	借方	貸方	金額
1	10/1	7144 仕入高6	111 現金	
		税込 10% 40 あり	税外 0% 0 以外 内	

【勘定科目を使用して区分する場合】

② 10/1 714（仕入）/111（現金） ¥110,000

インボイス

【勘定科目情報登録・訂正】

科目コード	勘定科目名称	標準税率	税率変更	入力区分	請求区分
712	仕入高(補助)	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり
713	仕入高(適格)	*:自動設定	変更なし	税込み	1:あり
714	仕入高(不明)	*:自動設定	変更なし	税込み	9:不明
7141	仕入高(免税)	*:自動設定	変更なし	税込み	4:控除
7142	仕入高(特例)	*:自動設定	変更なし	税込み	2:特例

【インボイス入力のポイント】

勘定科目情報登録・訂正で、科目コードごとに税率や請求区分を事前に登録しておく、仕訳入力時に自動設定されます。

No.	月日	借方	貸方	金額	摘要
2	10/1	714 仕入高(不明)	111 現金	110,000	帳簿のみ保存の特例 付加情報 付箋 破マ
		税込 10% 40 不明	税外 0% 0 以外 内	10,000	

【適格請求書発行事業者以外からの仕入（補助科目を使用して区分する場合）】



③ 10 / 1 712-003 / 413-003 ￥1,100,000
 (仕入高-C社(免税)) (買掛金-C社(免税))

【補助科目情報登録・訂正】

コード	補助科目名称	フリガナ	課税区分	標準税率	税率変更	入力区分	請求区分	帳簿のみ保存の特例
	補助コード指定なし	ホドコトシ		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
001	A社(適格)	Aシャ(チカク)		0:0.00%	変更なし	税外	2:以外	
002	B社(不明)	Bシャ(メイバン)		0:0.00%	変更なし	税外	0:不明	
003	C社(免税)	Cシャ(メイビ)		0:0.00%	変更なし	税外	4:控除	
004	D社(特例)	Dシャ(トコ)		0:0.00%	変更なし	税外	0:特例	0:百貨商特例

単一伝票入力(財務II形式)

画面表示(D) 会計チェック(C) 登録・訂正(E) 入力形式選択(F) 入力項目設定(G) その他機能(L) 機能選択(W) 出力帳表選択(O) 機能メニュー(SF4)

00002 株式会社 サンプル 法人 令和4年11月1日 ~ 令和5年10月31日

月次 期間(S) 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 決

補助コード順	あ	か	さ	た	な	は	ま
補助コード指定なし							補助コード指定なし
001	A社(適格)						
002	B社(不明)						
003	C社(免税)						
004	D社(特例)						
005	E社(適格)						

【入力のポイント】

勘定科目ではなく、補助科目情報登録・訂正で、会社ごとに税率区分等を事前に登録しておく、仕訳入力時に自動設定されます。軽減税率と混在する仕訳入力の際に便利です。

【インボイス入力のポイント】

補助登録画面で会社ごとに税率・請求区分を登録しておくコードごとに自動で税率等が設定されます。免税事業者からの課税仕入の経過措置(80%控除)が選択できます。

No.	月日	借方	貸方	金額	
1	10/1	7144 仕入高6	111 現金	110	
		税込10% 40 あり		内 10	
2	10/1	714 仕入高(不明)	111 現金	110	
		税込10% 40 不明		内 10	
前決	No.	月日	借方	貸方	金額
		内部取	コード 入力 税率 課区 請求	コード 入力 税率 課区 請求	消費税額
	3	10/1	712 仕入高(補助)	413 買掛金	1,100,000
			003 C社(免税)	003 C社(免税)	1,020,000
			税込10% 40 80控	税外0% 0 以外 内	80,000

強化

摘要入力の強化

補助科目(コード)を入力すると、自動的に補助名称が「摘要」に自動入力されていましたが、すでに同じ内容が「摘要」に入力されている場合は、補助科目(コード)を入力しても、「摘要」に自動入力されないようになりました。

例) 「借方」に補助科目(003:C社(免税))を入力した場合

⇒ 「摘要」に「C社(免税)」が自動入力されます。

「貸方」に補助科目(003:C社(免税))を入力すると、すでに「摘要」に「C社(免税)」が入力されているため、補助名称(C社(免税))は自動入力されません。

補助コード順		買掛金		補助科目一覧									
	補助コード指定なし	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	アルファベット	その他
001	A社(適格)										001	A社(適格)	
002	B社(不明)										002	B社(不明)	
003	C社(免税)										003	C社(免税)	
004	D社(特例)										004	D社(特例)	

前決	No.	月日	借方	貸方	金額	摘要
		内部取	コード 入力 税率 課区 請求	コード 入力 税率 課区 請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例 付加情報
	3	10/1	712 仕入高(補助)	413 買掛金		C社(免税)
			003 C社(免税)	003 C社(免税)		
			税込10% 40 80控	税外0% 0 以外 内		

[Enter] キー

コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報
413	買掛金						C社(免税)
003	C社(免税)						
	税外0%	0	以外	内			

(変更前)
 内容が重複する場合があります。

摘要
帳簿のみ保存の特例 付加情報 付箋 確マーク
C社(免税) C社(免税)

【便利機能】

- ④ 10/1 747 (接待交際費) / 111 (現金) ￥3,000 香典
 ※ 摘要登録・訂正画面で登録した「香典」の税率区分・課税区分を確認し、連想摘要を選択します。

借方		貸方	
コード	入力	コード	入力
01	病氣見舞金	13	ゴルフ年会費
02	香典	14	ゴルフロッカ料
03	銀別代	15	ゴルフ会員権書換料
04	結婚祝金	16	ライオンズクラブ会費
05	食事代	17	ローラークラブ会費
06	謝礼金	18	旅行招待
		19	記念式典
		20	宴会費

【入力のポイント】
 接待交際費や地代家賃のように課税・非課税が混在する科目の場合は、課税区分欄にカーソルが止まりますので指定をしてください。摘要に税率区分や課税区分をつけて登録しておく意識することなく仕訳を入力することができて便利です。仕訳入力画面からも摘要登録が可能です。

削	決	No.	月	日	借方				貸方				消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マ		
					内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求				
		4	10	1		747	接待交際費				111	現金				3,000	香典		
							税外	0%	0	以外			税外	0%	0	以外			

- ⑤ 10/1 747 (接待交際費) / 111 (現金) ￥12,000 請求区分不明
 ⑥ 10/1 747 (接待交際費) / 111 (現金) ￥12,000 請求区分不明

※ エラーチェック等で使用するため付箋紙や確認マークをつけておく便利です。

【入力のポイント】
 課税区分・税率区分はすべての摘要に登録しておく必要はありません。自動表示された初期値と異なる場合のみ登録してください。
【インボイス入力のポイント】 **インボイス**
 接待交際費が混在科目のため課税区分・請求区分欄にカーソルが止まります。請求区分不明に設定して進めることもできます。



Point

課税仕入関連の仕訳の場合は、「請求書等有無区分」へカーソルが移動しやすいよう「金額」で **[Space (スペース)]** キーを押すと、「請求書等有無区分」にカーソルが移動します。訂正し、**[Enter]** キーを押すと、「金額」にカーソルが戻ります。

借方				貸方				金額	借方						
コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	コード	入力	税率	課区	請求
7512	旅費			交通費	1111	現金				5,500	7512	旅費			交通費
		税込	10%	40	あり								税込	10%	40

→ **[スペース]キー**

【帳簿のみ保存の特例への対応】

⑦ 10/1 737 (旅費交通費) / 111 (現金) ￥20,000 JR

公共交通機関特例

① 「請求書等有無区分」で“3：帳簿のみ保存の特例（特例）”を選択します。

消費税区分一覧表					請求書等有無区分	
入力区分	税率区分	課税区分		課税区分		
0 税外	0 0.00%	0 不課税	41 対価の返還(課税売上に係る仕入)	0 請求書なし		
1 税抜き	1 3.00%	10 課税売上	42 課税売上に係る特定課税仕入	1 適格請求書あり		
2 税込み	2 5.00%	20 対価の返還(課税売上)	43 課税売上に係る特定課税仕入の返還	2 課税仕入以外の取引		
	3 8.00%	30 輸出売上	44 課税売上に係る消費者向国外電気通信	3 帳簿のみ保存の特例		
	4 軽8.00%	31 対価の返還(輸出売上)	45 課税売上に係る課税貨物	4 80%控除対象		
	5 10.00%	32 輸出売上(非課税資産)	46 課税貨物			

削 決	No.	月日	借方				貸方									
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求			
	7	10	1	737	旅費交通費											
					税込	10%	40	3								

【インボイス入力のポイント】
「請求書等有無区分」で“3：帳簿のみ保存の特例（特例）”を選択後、特例の種類を選択します。

② 「摘要」にカーソルが位置づくとき、「帳簿のみ保存の特例」の入力ガイドが表示されます。
“+”を入力後、選択したい特例の番号を入力します。

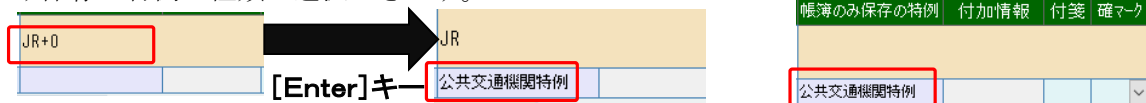
[Enter]キーを押すと、「帳簿のみ保存の特例」に、選択した特例が表示されます。

例) 「摘要」で“+0”を入力し、[Enter]キーを押すと、「帳簿のみ保存の特例」に“公共交通機関特例”が表示されます。

連想摘要一覧表										帳簿のみ保存の特例		
旅費交通費					現金							
01	定期券代	特	51	預金預入						+0	公共交通機関特例	税込3万未満
02	通勤費代	特	52	現金過不足						+1	出張旅費等特例	税込3万未満
03	出張日当	特	53	仮払領収書						+2	自動販売機特例	
04	出張旅費	特	54	支払通知書						+3	回収特例	
05	海外出張旅費		55	送金小切手						+4	郵便切手等特例	
06	出張仮払精算		56	送金為替手形						+5	質屋特例	
07	有料道路代		57	郵便為替証書						+6	古物商特例	
08	駐車料		58	郵便振替貯金払出						+7	再生資源等特例	
09	切符代	特	59	預金手形						+8	宅地建物特例	

削 決	No.	月日	借方				貸方				金額	摘要						
			内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力		税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋
	7	10	1	737	旅費交通費			111	現	金			20,000	+0				
					税込	10%	40	特例	税外	0%	0	以外	内	1,818				

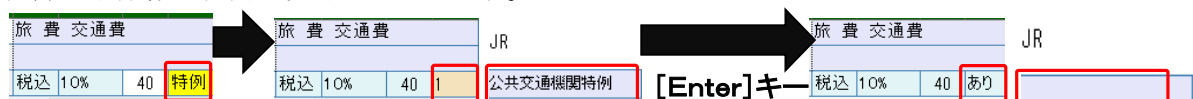
・「摘要」に内容を入力後、“+番号”を入力した場合も、帳簿のみ保存の特例の種類が選択できます。



・入力する番号を間違えた場合は、再度、“+番号”を入力します。後から入力した「帳簿のみ保存の特例」の内容に変更されます。



・「帳簿のみ保存の特例」に表示されている内容を消去したい場合は、「請求書等有無区分」で“3：帳簿のみ保存の特例”以外を選択します。



・「請求書等有無区分」が“3：帳簿のみ保存の特例（特例）”以外の時に、「摘要」で“+”を入力して [Enter] キーを押すと、入力ガイドに帳簿のみ保存の特例のガイドが表示されます。“+0”を入力すると、「請求書等有無区分」が“特例”に変更されます。



【連想摘要で区分する場合】

⑧ 10 / 1 737 (旅費交通費) / 111 (現金) ￥60,000 出張日当
出張旅費等特例

① 「連想摘要」のガイドを選択します。

連想摘要登録・訂正
科目コード: 737 旅費交通費

No.	摘要	税率	入力	請求	帳簿のみ保存の特例
1	定期券代			3:特例	1:出張旅費等特例
2	通勤費代			3:特例	1:出張旅費等特例
3	出張日当			3:特例	1:出張旅費等特例
4	出張旅費			3:特例	1:出張旅費等特例
5	海外出張旅費				
6	出張仮払精算				
7	有料道路代				

② 帳簿のみ保存の特例に選択した特例が表示され、「請求書等有無区分」が「特例」に変更されます。

借方	貸方	金額	摘要
10 1 737 旅費交通費	111 現金	60,000	出張日当・旅費
税込 10% 40	税外 0% 0	5,454	出張旅費等特例

【確認】を選択すると、次のメッセージが表示される場合があります。

税込3万円以上の場合に指定できない「帳簿のみ保存の特例」を選択しています。保存を中断し仕訳を訂正しますか？

[[はい]] ⇒ 保存を中断し仕訳を訂正します。
[[いいえ]] ⇒ 保存します。

次の両方に該当する場合には表示されます。

- ・ 「帳簿のみ保存の特例」が“公共交通機関特例”または“自動販売機特例”の場合
- ・ 税込金額が“30,000円”以上の場合

● 仕訳入力画面からの[F7: 摘要登録] ●

摘要登録先: 連想摘要 キー摘要 コード摘要

連想摘要登録内容
登録科目: 借方科目 貸方科目

摘要内容: 新幹線代 フリガナ: _____

消費税区分
課税区分: [40] 入力区分: 税込み 税率区分: *自動設定 請求区分: 3:特例
帳簿のみ保存の特例: 1:出張旅費等特例

請求区分、帳簿のみ保存の特例区分もあわせて登録がおこなえます。

【コード摘要で区分する場合】

- ⑨ 10/1 757 (会議費) / 111 (現金) ￥500 お茶代 千代田区
 【軽8%】 自動販売機特例
 10/1 757 (会議費) / 111 (現金) ￥1,000 入場料
 回収特例

❶ 「摘要」欄で“000”【Enter】キーを押し、コード摘要のガイドを呼び出します。

摘要登録・訂正の【コード摘要】で「請求区分」に“3：特例”、「帳簿のみ保存の特例」で各区分を選択しておく・・・(3-2-4 摘要登録・訂正参照)

No.	摘要	課税	税率	入力	請求	帳簿のみ保存の特例
100	JR	40	*:自動設定	税込み	3:特例	0:公共交通機関特例
101	出張	40	*:自動設定	税込み	3:特例	1:出張旅費等特例
102	お茶代	40	4:軽8.00%	税込み	3:特例	2:自動販売機特例
103	入場料(〇〇社)	40	*:自動設定	税込み	3:特例	3:回収特例
104	切手等	40	*:自動設定	税込み	3:特例	4:郵便切手等特例

削	No.	月	日	借方				貸方				金額	摘要				
決		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク
	9	10	1	757	会	議	費	111	現	金			500				
					税込	軽8%	40	あり		税外	0%	0	以外	内	37		

❷ ガイドから選択すると、「帳簿のみ保存の特例」と「請求」区分に登録済の区分が設定されます。

削	No.	月	日	借方				貸方				金額	摘要					
決		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク	
	9	10	1	757	会	議	費	111	現	金			500	お茶代				
					税込	軽8%	40	特例		税外	0%	0	以外	内	37	自動販売機特例		

❸ 摘要語句は必要に応じてうちかえてください。

【自動販売機特例】の場合は、
摘要に購入場所を記載するルールがあります 🍷

削	No.	月	日	借方				貸方				金額	摘要					
決		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク	
	9	10	1	757	会	議	費	111	現	金			500	お茶代	千代田区			
					税込	軽8%	40	特例		税外	0%	0	以外	内	37	自動販売機特例		

❹ コード摘要の番号を直接入力しても設定されます。

削	No.	月	日	借方				貸方				金額	摘要					
決		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク	
	10	10	1	757	会	議	費	111	現	金			1,000	入場料				
					税込	10%	40	特例		税外	0%	0	以外	内	90	回収特例		

5-2 簡易課税の仕訳入力例

① 10 / 1 111 (現金) / 811 (商品売上) ￥1,000,000
課税区分 「12」 第2種事業売上

② 10 / 1 111 (現金) / 812 (売上高) ￥1,000,000
課税区分 「15」 第5種事業売上

【入力のポイント】

『31.基本情報登録・訂正』で「簡易課税を選択し、“事業分類する”を選択している場合は、事業分類の課税区分の入力が可能です。

<科目の事業区分を登録する場合>

- ※ メリット・・・摘要を入力し、すぐに次の仕訳入力にすすむことができます。
- ※ デメリット・・・同じ科目で複数の事業を管理することができません。

『32.勘定科目情報登録・訂正』で課税区分を設定済の場合、科目コードを選択するだけで事業区分が自動で入ります。

使用	科目	勘定科目名称	合計	課税
コード			転記	区分
<input checked="" type="checkbox"/>	811	商品売上高	<input type="checkbox"/>	12
<input checked="" type="checkbox"/>	812	売上高 1	<input type="checkbox"/>	15

③ 10 / 1 816 (売上値引戻り高) / 132 (売掛金) ￥210,000
課税区分 「22」 第2種事業返品

【入力のポイント】

売上のコードは複数ありますが、売上値引き戻り高は1科目しかありません。事業分類をおこなう場合は、補助コード毎に分類するか、仕訳ごとに課税区分で分類してください。

軽減税率の仕入仕訳を色分けで表示してみましょう。

日記帳訂正画面を表示すると、軽減税率8%の仕訳がオレンジ色(初期値)で表示されます。

No	月日	借方	貸方	金額	摘要
1	10/1	7143 仕入高5	111 現金	110,000	
2	10/1	714 仕入高(適格軽8%)	111 現金	9,900	
3	10/1	712 仕入高(補助) C社(免税)	413 買掛金 C社(免税)	1,100,000	
7	10/1	7143 仕入高5	413 買掛金 A社(適格)	1,000,000	
8	10/1	7142 仕入高(摘要)	111 現金	1,100,000	
9	10/1	7142 仕入高(摘要)	111 現金	1,100,000	

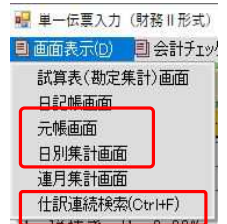
『色分表示指示』
 次回以降も同じ色分条件で、仕訳伝票をチェックしたい場合は、**[F6 : 色分表示指示保存]** を選択すると、保存されます。
 顧問先単位で保存されます。
 「課税区分」は初期値として、「34:非課税売上」が設定されます。

『軽減税率取引仕訳 色分表示指示』
 軽減税率対象の取引の仕訳伝票を『色分表示指示』とは別の背景色にしてチェックしたい場合に設定します。
[F10 : OK] を選択すると、設定した内容が保存されます。

● 特例の仕訳伝票の確認方法 ●

元帳画面表示指示や帳表出力指示など、仕訳伝票検索指示で税込み金額や特例の種類が指定できます。

- ・「税込み金額の仕訳伝票」で3万円未満や、3万円以上を選択して検索します。
- ・『仕訳連続検索』では、特例の種類を選択して検索がおこなえます。



請求区分で 3 : 特例や 9 : 不明を使用した仕訳の検索ができます。

インボイス

No	月日	借方	貸方	金額	摘要
5	10/1	147 接待交際費	111 現金	12,000	ゴルフ茶屋
8	10/1	147 接待交際費	111 現金	12,000	ゴルフ茶屋
10	10/1	7143 仕入高5	413 買掛金 A社(適格)	1,000,000	
11	10/1	147 接待交際費	111 現金	12,000	ゴルフ茶屋
12	10/1	7142 仕入高(摘要)	111 現金	1,000,000	

【仕訳連続検索 (Ctrl+F)】

【仕訳連続検索指示】で【確認】を選択すると、画面の右下に赤字で“【連続検索中】”と表示され、検索条件に該当した仕訳伝票が『仕訳伝票入力欄』に表示されます。仕訳伝票の訂正や追加・削除も可能です。

次の仕訳伝票を検索する場合は、【F9：次を検索】を選択します。

仕訳連続検索を終了する場合は、【F12：連続検索終了】を選択します。通常の【仕訳伝票入力】に戻ります。

削	No.	月日	借方			貸方			金額	摘要							
決		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク
	40	10月15日	737	旅費	交通費			111	現金				33,000	JR			
				税込	10%	40	特例		税外	0%	0	以外	3,000	公共交通機関特例			

【Shift】キー

『仕訳伝票入力欄』
【F8：前を検索】または【F9：次を検索】を選択すると、検索条件に該当する仕訳伝票が表示されます。

【SF6：項目固定】
仕訳伝票を連続検索しながら、金額や補助コードなど、1つの項目だけを訂正することができます。

仕訳連続検索中は、“【連続検索中】”と表示されます。
検索された仕訳伝票の先頭行で【F8：前を検索】を選択した場合は、『仕訳伝票入力欄』に最終仕訳伝票を表示し、次のように表示されます。

検索された仕訳伝票の最終行で【F9：次を検索】を選択した場合は、『仕訳伝票入力欄』に先頭仕訳伝票を表示し、次のように表示されます。

<会計チェック>

インボイス

《合計残高試算表チェック からの一括置換の使用例と注意》

“002 B社（不明）”で入力している712（仕入高）の補助を“005 E社（適格）”に変更し、摘要語句を「B社（不明）」から「E社（適格）」へ変更してみましょう。

会計チェック(C)

- 消費税エラーチェック
- 消費税計算内訳表チェック
- 仕訳エラーチェック
- 合計残高試算表チェック**

補助を使用している科目は + が表示されます。
+ をクリックすると補助毎の残高が確認できます。

戻る 進む チェック切替 合計残高試算表（勘定集計）チェック

期間: 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 決算 翌11月 翌12月 翌1月

部門:

絞込み結果 科目コード: - 勘定科目: 補助料 **ダブルクリック**

- ・ドリルダウンできる項目 :
- ・ドリルダウンできない項目 :

コード	科目	前残高	借方金額
-	712 仕入高(補助)	980,000	1,680,000
	補助コード指定なし	980,000	0
	B社(不明)		560,000
	C社(免税)	0	1,100,000

処理選択

- 日記帳訂正画面**
- 元帳訂正画面
- 日別集計画面
- 連月集計画面
- 下の階層へ移動
- 部門別グラフ

借方計	560,000	貸方計	560,000
11	10	20	712 仕入高(補助) 111 現金 100,000 D社(不明)
12	10	20	712 仕入高(補助) 111 現金 110,000 D社(不明)
13	10	20	712 仕入高(補助) 111 現金 150,000 D社(不明)
14	10	20	712 仕入高(補助) 111 現金 200,000 D社(不明)

[SF 5 : 一括置換] を選択します。

月日	借方	貸方	金額	摘要
11	10 20 712 仕入高(補助)	111 現金		
				B社(不明)

一括置換設定

月: 日:

勘定科目: **712-002** → **712-005**

摘要: **B社(不明)** → **E社(適格)**

課税区分: 税率区分: 決算区分:

置換確認

B社（不明） → E社（適格）

～注意～
一括置換では下図のように制限があります。
請求区分の変更も一括置換画面ではできません。
仕訳入力画面で訂正してください。

確認

以下の仕訳は一括置換の対象外ですが、処理を継続しますか？

- 消費税額を上書きしている仕訳
- 適格請求書発行事業者以外からの課税仕入の仕訳
- 帳簿のみ保存の特例を選択している仕訳
- 税抜仕訳で税額仕訳を省略している仕訳

※これらは仕訳入力画面で訂正してください。

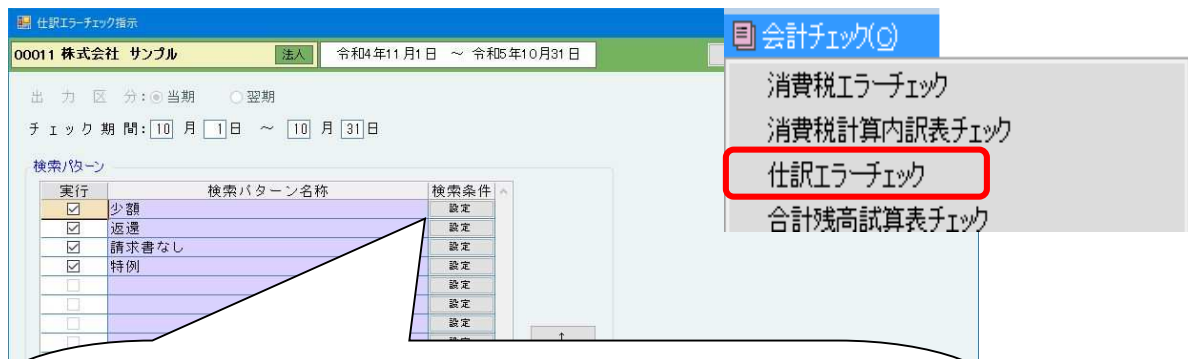
はい いいえ

月日	借方	貸方	金額	摘要
11	10 20 712 仕入高(補助)	111 現金	100,000	E社(適格)
				B社(適格)

月日	借方	貸方	金額	摘要
11	10 20 712 仕入高(補助)	111 現金	100,00	E社(適格)
				B社(適格)

《仕訳エラーチェックの使用例》

事務所で毎月確認している検索パターンを登録し、チェックを簡単におこなえます。



[設定] を選択し、検索パターンを登録しておきます。

検索項目②

伝票番号: []番 ~ []番
 金額: []円 ~ []円
 摘要: [] } ●又は ○且つ
 部門: [] ~ []
 入力区分: [借戻いずれか] [一致] ●指定なし ○税外 ○税抜き ○税込み
 税率区分: [借戻いずれか] [一致] []
 課税区分: [借戻いずれか] [一致] [] ~ []
 請求区分: [借戻いずれか] [一致] []
 税込み金額の伝票検索: ○しない ●1万円未満 ○1万円以上
 ○3万円未満 ○3万円以上

実行欄にチェックが入っている状態で[F10:開始]を選択すると検索がおこなわれます。

検索パターン

実行	検索パターン名称	検索条件
<input checked="" type="checkbox"/>	少額	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	返還	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	請求書なし	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	特例	設定

仕訳エラー一覧

00011 株式会社 サンプル 法人 令和4年11月1日 ~ 令和5年10月31日

エラー仕訳 合計数 3

No.	月日	借方	消費税区分等	貸方	消費税区分等	金額	摘要
少額							
2	10	714	仕入高(通格程0%)	111	現金	9,900	
返還							
15	10	111	現金	715	仕入値引戻し高	5,500	達* 10%
請求書なし							
該当データはありません。							
特例							
10	10	737	旅費交通費	111	現金	20,000	JR 達* 10%特

表示された仕訳伝票をダブルクリックすると、【日記帳訂正】が表示され、仕訳伝票の訂正がおこなえます。

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 出力指示 F10 F11 F12 終了

画面表示とプレビューの違い

■80%控除で入力している場合

出力すると・・・「消費税区分等」に“控”、「貸方」等に“80%控除対象”が出力されます。
「金額」欄の下段に、消費税額が出力されます。

仕訳日記帳							1頁
00011 説明用							
伝票No.	月日	借方科目	消費税区分等	貸方科目	消費税区分等	金額	摘要
3	10. 1	712 仕入高(補助) 003 C社(免税)	10%控	413 買掛金 003 C社(免税)		1,100,000 (80,000)	C社(免税) 80%控除対象
		令和5年10月合計		伝票枚数		1	(借方補助数 貸方補助数 補助計)
				入金合計		0	(1 1 2)
				出金合計		0	
				総合計		1,100,000	

総勘定元帳							[混 科目: 712 仕入高(補助)]	[在]	1頁
00011 説明用									
5年月日	伝票No.	相手科目	摘要	消費税区分等	借方	貸方	残高		
			前月より繰り越し		890,910		890,910		
10. 1	3	413 買掛金 003 C社(免税)	C社(免税)	10%控	1,100,000 (80,000)	80%控除対象	1,990,910		
10. 31		142 仮払消費税等	消費税等振替分		-80,000		1,910,910		
			10月計		1,020,000				

※『仕訳チェックリスト』『振替伝票』等、他の帳表も同様に出力されます。

● 制限事項 ●

グループメニュー内『02. 仕訳入力・月次処理』⇒『51. 仕訳日記帳出力』『52. 総勘定元帳出力』で、「出力方法」で“CSV”を選択した場合は、次の項目が出力されません。

- ・「免税業者からの課税仕入れに係る経過措置」を適用している場合の“80%控除対象”の文字
- ・消費税額

■帳簿のみ保存の特例の入力の場合

日記帳訂正画面

00011 説明用 法人 令和4年11月1日 ~ 令和5年10月31日

表示月: 10月 ~ 10月 合計表示科目: 借方計: 貸方計: 合計: 表示枚数: 1枚 [本則 併用入力] 伝票合計金額: 20,000

10	10	1	737	旅費交通費	込*	111	現金		20,000	JR
----	----	---	-----	-------	----	-----	----	--	--------	----

削決	No.	月日	借方				貸方				金額	摘要					
		内部取	コード	入力	税率	課区	請求	コード	入力	税率	課区	請求	消費税額	帳簿のみ保存の特例	付加情報	付箋	確マーク
	10	10	1	737	旅費交通費			111	現金				20,000	JR			
					税込 10%	40	特例		税外 0%	0	以外	内	1,818	公共交通機関特例			

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 削除 F6 戻る F7 色分指示 F8 前の伝票 F9 次の伝票 F10 確認へ F11 プレビュー & 印刷 F12 終了

出力すると・・・消費税区分等」に“特”、「摘要」等に特例の種類が出力されます。
「金額」欄の下段に、消費税額が出力されます。

仕 訳 日 記 帳 1頁

00011 説明用

伝票 No.	月日	借方科目	消費税区分等	貸方科目	消費税区分等	金額	摘要
10	10. 1	737 旅費交通費	込* 10% 特	111 現金		20,000 JR (1,818)	公共交通機関特例
		令和 5年10月合計		伝票枚数		1	(借方補助数 貸方補助数 補助計)
				入金合計		0	(0 0 0)
				出金合計		20,000	
				総合計		20,000	

総 勘 定 元 帳 [混 在] 科目: 737 旅費交通費 1頁

00011 説明用

5年 月日	伝票 No.	相 補 助 科 目	摘 要	消費 税 区 分 等	借 方	貸 方	残 高
			前月より繰り越し		119,095		119,095
10. 1	10	111 現金	JR	込* 10% 特	20,000 (1,818)	公共交通機関特例	139,095
10.31		142 仮払消費税等	消費税等振替分		-1,818		137,277
			10月計		18,182		

※『仕訳チェックリスト』『振替伝票』等、他の帳表も同様に出力されます。

● 制限事項 ●

グループメニュー内『02. 仕訳入力・月次処理』⇒『51. 仕訳日記帳出力』『52. 総勘定元帳出力』で、「出力方法」で“CSV”を選択した場合は、次の項目が出力されません。

- ・帳簿のみ保存の特例の種類（出張旅費等特例など）
- ・消費税額